

在南ア日本大使館  
領事がつづる

## 南アフリカ通信

Vol. 36

文・写真◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと72日。  
開催国の南アでの観戦を予定している人は、  
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで  
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

今回は、旅券（パスポート）について紹介する。南ア行きが決まったら、まずは旅券を確認しよう。当たり前と思つなれ。出発前に旅券が見当たらず、書くなる人は結構いるのだ。

それから、氏名や顔写真の上にある旅券の有効期間満了日を確認する。南ア当局は、入国に際して、南ア滞在期間プラス1カ月以上の残存有効期間を求めている。有効期間切れや、残存有効期間が十分でない場合には、新しい旅券を取らなければならない。この手続きは、最寄りの都道府県庁の旅券窓口で行なうが、1週間かかるので、早めに申請しよう。

有効期間の次は、査証欄の空白ページ数をチェックしよう。「査証（VISA）」と記載されているページで、旅券の大半はこれが占めている。ここに旅行先の査証や出入国スタンプが押されるのだが、少なくとも2ページ以上は確保したい。空白ページがないと、南アへの航空機搭乗を断られたり、南アの空港に到着しても、入国を

### ●「強制帰国させられないための、旅券の話」●



▲南アでは銃の所持が合法。ヨハネスブルグ空港には銃専用のチェックインカウンターもある



▲本誌編集部員もパスポートの期限切れで海外に行けなかったことが。今一度、手元を確認を

拒否されて乗ってきた飛行機で出発地に送り返されるハメになるので注意。査証欄を増やす「査証欄の増補申請」は都道府県庁の旅券窓口で手続きできる。

南ア当局は、短期間滞在する日本旅券所持者に査証取得を義務付けていない。残存有効期間と査証欄の空白ページ数が十分にあれば、入国を認めてくれる。ただ、帰国航空券の提示を求められるときがある。入国審査の際に質問されても慌てないように、航空券は旅券と一緒にしておこう。

ちなみに、アフリカ大陸中部の国から南アに入国しようとする、イエローカードの提示を求められることがあるが、これは黄熱病予防接種証明書のことだ。これがない場合には、空港で予防接種を受けるハメになるが、アジア路線や欧州路線を使って入国する人には義務ではないし、サッカーの試合中に受ける警告とも無関係なので、慌てなくても大丈夫！

著者プロフィール ●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本大使館 [http://www.za.emb-japan.go.jp/index\\_jp.html](http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html)